

| | |
|--------------|------------------------|
| 事業者向け | 放課後等デイサービス自己評価表 |
|--------------|------------------------|

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----|---|----|---------------|-----|---|
| 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切でゑるか | ○ | | | グループ分けし、それぞれに合った部屋で勉強、遊びをしている |
| 2 | 職員の配置数は適切であるか | | ○ | | 資格者が多いので、適切な支援が出来るが、職員の質を上げたい |
| 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | ある程度、バリアフリー化している |
| 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 朝礼、昼礼、スタッフ会議等で、全職員参画し改善に努めている。中身を充実する |
| 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | 朝礼、昼礼、スタッフ会議等で、全職員参画し改善に努めている。もっと中身を充実する |
| 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 集計結果を全職員、保護者様に通知すると共にホームページ等に公開している |
| 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | 埼玉県教育局特別支援教育推進専門員に定期的に指導を受けている。回数を増やしていく |
| 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 埼玉県教育局特別支援教育推進専門員に定期的に直接指導を受けているが回数を増やす。埼玉県主催の研修等に参加している |
| 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 定期的に保護者面談を行い、相互理解を深めている。専門員を講師として保護者様向け相談会を開催している。もっと回数を増やしたい |
| 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 定期的に保護者面談を行い、相互理解を深めている。専門員を講師として招き保護者様向け相談会を開催している。もっと増やしたい |
| 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 管理者を中心に立案して職員同士でチェックし支援している。もっと充実したい |
| 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 前日に基本的な支援を決めている。当日の状況を見ながら適切な支援を行っている |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 平日は集団活動、個別活動。休日、長期休暇はそれに加えて買物、外食訓練、公園、工場見学等に外出している |
| 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 保護者様とのコミュニケーションを密にして、子どもの状況に応じて活動計画を作成している |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 朝礼、昼礼時に各事項の確認を行い漏れの無いようにしている |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 終礼時に確認と反省会を行っているが、もっと活発化したい |

| | | | | | |
|----|--|---|--|---|---|
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 日報を作成し、職員間で共有して支援の検証、改善につなげている |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 各データをもとに保護者様と面談して支援計画の見直しの材料としている |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | | | ○ | 昨年同様に高校生、高齢者のボランティアの応援がありました |
| 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | | ○ | 管理者、児童発達支援管理責任者などの管理職を参画させている |
| 21 | 字校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 事前に学校から予定表などの情報してもらい活用すると共に子供引き受け時などにきめ細かい情報交換をしている |
| 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 現在は医療的ケアが必要な子どもは入所していない |
| 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 必要に応じて情報交換しているがもっと増やしたい |
| 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 必要に応じて情報を提供しているが積極的に増やしたい |
| 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 専門機関が開催する研修に参加している。県教育局特別支援推進専門員の助言、指導を受けている |
| 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | イベント参加時、児童センターでの交流を行なっているが回数を増やす |
| 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 協議会が発足した時点で参加する |
| 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡帳、送迎時にその時々の状況を伝え、情報を共有している |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 特別支援教育推進専門員にお願いして「保護者様相談会」など開催し機会を設けてきましたが回数を増やしたい |
| 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 保護者様に契約時に時間をかけて、丁寧に説明しています。必要に応じて面談時にも重ねて行っています |
| 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | その都度責任者が相談に応じていますが、特別支援教育推進専門員による「保護者様相談会」時にも個別に助言、支援を行っている |
| 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 保護者様相談会開催時にも保護者様同士の話し合いの場をセットして喜ばれていますので回数を増やしたい |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 会社代表、管理者が責任者として対応する体制になっている。第三者の立場で民生委員元幹部にも担当してもらう体制にしている |
| 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子ども保護者に対して発信しているか | ○ | | | 毎月、未来サポート通信を配布している。ホームページでも適時情報を発信している |
| 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 全職員から誓約書を受領し、会議で注意している。キー付ロッカーで保管している |
| 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 日常の会話、連絡ノートでの伝達など、子どもや保護者様の気持ちを十分考慮してきめ細かな対応を心掛けていて |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | 機会あるごとに教室に立ち寄ってもらっている。近くに農地を借り農業体験をしている |
| 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 保護者様には面談時、職員には朝礼、スタッフ会議などで度々周知している |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 消防署員立会いのもと年2回、必要に応じて適宜実施している |
| 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 推進専門員、ぎゃくたいけんしゅうじゅこうしゃを講師とし勉強会を行っている（朝礼、スタッフ会議時など） |
| 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 契約時、面談時によく説明して了承を得ているが、その状況が起こりそうな時には直ぐに保護者様に連絡して対応する |
| 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応が執っているか | | | ○ | 現在、特別アレルギーのある子どもはいないが、入所があった場合は提携医師の指示により対応します |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 過去のヒヤリハット事例も参考にして勉強会をしているが回数増をする |